

小樽市長
迫 俊哉 様

小樽市医師会看護高等専修学校
小樽市富岡1丁目5番15号

在校生一同

小樽看護専門学校存続に関する要望書

以下の事項について要望いたします。

記

私たち小樽市医師会看護高等専修学校の学生は、准看護師の資格取得を目指し、日々勉学に励んでおります。

資格取得後は准看護師として小樽市内の医療機関で従事しながら、更なる質の高い知識と技術を学ぶため、小樽看護専門学校へ入学し看護師の道を目指す予定でございました。

しかし先日、小樽看護専門学校が来年度より入学者を募集せず実質3年後に閉校となることを決定しました。私達学生はこの突然の発表に大変困惑しております。これまで小樽看護専門学校への入学を目標に勉学に励む者が多かった中、その道が閉ざされては小樽市内に在住しながら看護師を目指す学校は、札幌市の琴似看護専門学校のみとなります。しかし、小樽市内で准看護師として従事しながらの通学は非常に困難であり、小樽市外へ住居を移さなければならぬ場合、又、小さい子供のいる学生の場合は小樽からの通学が難しく、看護師への道自体が閉ざされる者が多数おります。

看護師の資格を取得してから目指すことのできる保健師や助産師の道すらも断念せざるを得なく、特に助産師資格を持つ者の減少は小樽市の少子化を促進させる因子になりかねないと考えます。

現在本校の1年生35名、2年生33名が小樽看護専門学校への進学を志望しております。これまで本校の卒業生の多くが、小樽看護専門学校へ進学し、卒業後は小樽市内で看護師として働いております。

私たちは是非とも来年度小樽看護専門学校へ入学し、資格取得後は小樽市で看護師として従事し、地域医療への発展に貢献していけるよう学んでいきたいと考えていますので、小樽看護専門学校が今後も存続するよう、行政として最大限ご尽力いただくことを要望致します。

以上